

登録コード	L2960600	開講年度	2026				
担当教員	大島 武			副担当			
授業科目	書道芸術Ⅰ						
英文授業名	Art of Calligraphy Ⅰ						
授業タイトル							
単位数	2	対象学生		講義期間	前期	曜日・時限	月曜・3時限 月曜・4時限
講義室	人文第2講義室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			⇔	【授業の達成目標】		
	2022Lカリ, 2021Lカリ, 2020Lカリ						
	【2022年度以前カリ対象】異質・多様なものを理解し、寛容かつ多角的に判断することができる受容力			⇔	東洋の文字や書道芸術が多様な文化のひとつとして理解できるようになる。		
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降カリ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			⇔	東洋の文字や書道芸術が多様な文化のひとつとして理解できるようになる。		
	【2023年度以降カリ対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			⇔	東洋の文字や書道芸術が多様な文化のひとつとして理解できるようになる。		
	【2023年度以降カリ対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】			⇔	東洋の文字や書道芸術が多様な文化のひとつとして理解できるようになる。		
授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	漢字について、毛筆を中心に各書体の基本から応用まで学ぶ。						
授業計画	第1回：楷書と行書について（eALPSによるレポート及び硬筆課題） 第2回：書へのいざない（書体の変遷、臨書と創作、用具用材等）、漢字仮名交じり文硬筆 第3回：楷書の基本点画①（姿勢と執筆、縦画・横画・折れ・左払い・右払い） 第4回：楷書の基本点画②（そり・はね・折れ） 第5回：楷書の基本点画③（曲がり・はね・とめ） 第6回：欧陽詢の楷書（九成宮醴泉銘） 第7回：虞世南の楷書（孔子廟堂碑） 第8回：鑑賞学習（キャンパス外活動） 第9回：?遂良の楷書（雁塔聖教序） 第10回：顔真卿の楷書 第11回：行草書の基本用筆 第12回：王羲之の行草書 第13回：隸書の基本用筆 第14回：篆書の基本用筆 第15回：漢字作品の創作（半紙、半切4分の1、色紙、うちわ等）、授業アンケート実施 定期試験：なし						
成績評価の方法	毎回提出する作品（鑑賞の場合はレポート）により、書道の基礎的な技術と見識が身についたかを評価する。						
成績評価の基準	提出課題の水準による。						
事前事後学習の内容	実技を主とする授業であり、事前の用具の準備、事後の手入れ（十分な墨・半紙の用意、筆・硯洗い）をしっかりと行うこと。						
履修上の注意	この授業は積み重ねが重要であるから、休まないことが肝要。 「書道芸術Ⅱ」を続けて履修することが望ましい。（2026年度は不開講）						
質問、相談への対応	授業終了後直接またはメールアドレス：kazan_o@yahoo.co.jp						
教科書	授業内で紹介						
参考書	授業内で紹介						